



第36回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子		令和8年2月14日	17:25	開始
2回戦		グリーンアリーナ神戸	B	

◎ 報徳学園	61	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>10</td><td>4th</td><td>18</td></tr> </table>	23	1st	14	20	2nd	17	8	3rd	11	10	4th	18	60	光泉カトリック
23	1st	14														
20	2nd	17														
8	3rd	11														
10	4th	18														

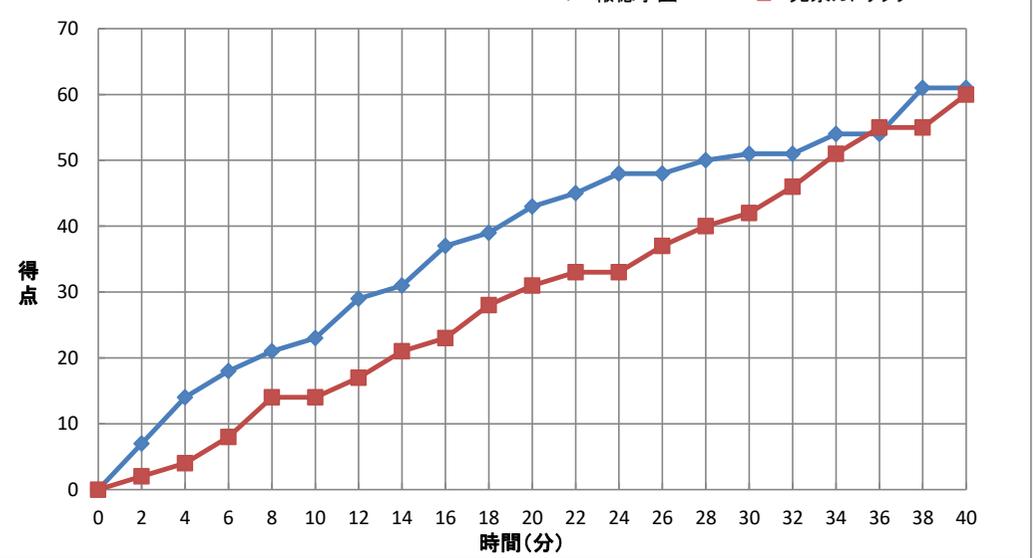
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 1	山本 勇生	16	4	2	0	2	1	川口 恭生	0	0	0	0	0
2	佐藤 隆晟	-	-	-	-	-	* 3	市村 峰大	9	1	3	0	4
* 8	澤山 陸	7	1	2	0	2	* 6	坂下 拓瞳	5	1	0	2	1
10	福井 天	-	-	-	-	-	7	中村 蒼太郎	-	-	-	-	-
* 17	高松 佳司	11	0	4	3	4	8	谷瀬 剛	-	-	-	-	-
* 19	浅井 智也	7	0	3	1	2	13	森 健	-	-	-	-	-
20	藤原 悠粋	2	0	1	0	1	20	坂本 璃光	4	1	0	1	4
22	長水 誠治	-	-	-	-	-	21	岡崎 悠志	8	0	4	0	1
38	下坂 終翔	8	0	4	0	0	* 22	フレミング アレキサンダー	14	1	5	1	2
42	内藤 立城	-	-	-	-	-	27	青木 翠海	-	-	-	-	-
* 43	トンプソン クリントン	4	0	1	2	5	* 28	小林 千晃	10	0	5	0	1
70	松田 豪	-	-	-	-	-	48	芝崎 叶	3	1	0	0	1
76	アマダスン ケヴィン 義加	6	1	1	1	1	* 51	鈴木 龍雅	7	1	0	4	5
85	高橋 巧真	0	0	0	0	0	54	畑 潤弥	0	0	0	0	0
90	森田 旭	-	-	-	-	-	55	山元 煌太	-	-	-	-	-
コーチ	田中 敬						コーチ	寺田 均					
Aコーチ	更谷 知則						Aコーチ	木村 郁斗					
合計		61	6	18	7	17	合計		60	6	17	8	19

クルーチーフ: 石川 淳也

1stアンパイア: 南 宣匡

2stアンパイア: 小橋 堯生

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:47	: 26:57	34:59	:	:	:
TeamB	2:56	18:01	37:24	39:45	:	:

【戦評】

【第1Q】

試合開始直後、報徳 #8 澤山から #17 高松に、ゴール下への鋭いパスが通り、報徳が先制点を獲得。しかし光泉 #3 市村も落ち着いてジャンプシュートを決める。その後、報徳は #1 山本の3Pシュートで攻撃の勢いを増し、連続得点を重ね、試合開始3分で12-2と報徳が10点のリードをしたところで光泉は前半一回目のタイムアウト。タイムアウト明けから光泉のゾーンディフェンスに報徳の攻撃の手も緩むが、報徳もボールマンへのディフェンスを強化し、点差は縮まらず報徳23-14光泉で第1クォーター終了。

【第2Q】

序盤は報徳 #8 澤山の3Pや#76 アマダスンのバスケットカウントで報徳がリードを広げる。さらに、報徳 #8 澤山の華麗なアシストパスでも報徳が勢いづくが、報徳はハードなディフェンスと引き換えにファウルを重ねてしまう。チームファウルによるボーナスのフリースロー等で、光泉は少しずつ得点を重ね、大きく点差は開かず報徳43-31光泉で前半終了。

【第3Q】

報徳は力強いプレーを仕掛けるが、タフショットがリングに嫌われ、シュートが外れてしまう。対して、光泉はドライブからの合わせや、インサイドアウトなどの堅実なプレーで着実に点数を重ねる。残り3分で光泉#20 坂本が3Pシュートを決め、点差は10点に。流れを断ち切りたい報徳が後半1回目のタイムアウト。しかし、タイムアウト明けにリムプロテクターとして活躍していた報徳 #43 トンプシンが5回目の個人ファウルにより退場してしまう。光泉が勢いを増すと思われたが、報徳はゾーンディフェンスに切り替え、流れを渡さない。報徳51-42光泉の9点差で、勝負は第4クォーターへ。

【第4Q】

光泉 #28 小林がオフェンスリバウンドからの2点、#22フレミングが裏パスからの2点、#3市村が3Pシュートを決め、一気に点差を縮める。しかし、報徳 #1山本も3Pシュートや速攻のシュートで流れを渡さない。第4クォーター残り2分、点差は4点。お互いに一歩も譲らない勝負は続き、最後の7秒で光泉#20坂本が3Pシュートを沈めるが、あと1点の差を報徳が逃げ切り、報徳61-60光泉で試合終了。

戦評: 町田 誠

記録: 県立明石高等学校